

# ある順序関係による絡み目の数え上げ

岸本 健吾

大阪市立大学理学研究科数物系専攻

前期博士課程1年

今は「Enumerating prime links by a canonical order」河内先生と田山氏の共同論文を読んでいます。以下、簡単に内容を述べます。

まず Alexander の定理より、全ての絡み目はブレイド表示ができ、また Markov の定理により、ブレイド群にある同値関係を定めて新たに出来た群と絡み目全体は1対1対応をとります。そこでその群と整数組全体の間うまく1対1対応をとることによって、整数組全体と絡み目全体に1対1対応ができます。整数組全体にある順序関係を定めることによって、結び目に順序をいれることができます。

今後、この論文を読み進めていこうと思っています。